

漁 海 況 月 報 平成 2 8 年 1 月 2 0 日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

1 海況予測

現在、渥美外海では、高気温と 12 月下旬～1 月上旬の暖水流入の影響で、水温は極めて高めとなっています。沿岸の流況は、流入した暖水が沖合で滞留し、東向きの流れが主体になっていると考えられます。

12 ～ 1 月は、イカナゴの産卵～ふ化期にあたり、高水温の影響が懸念されます。

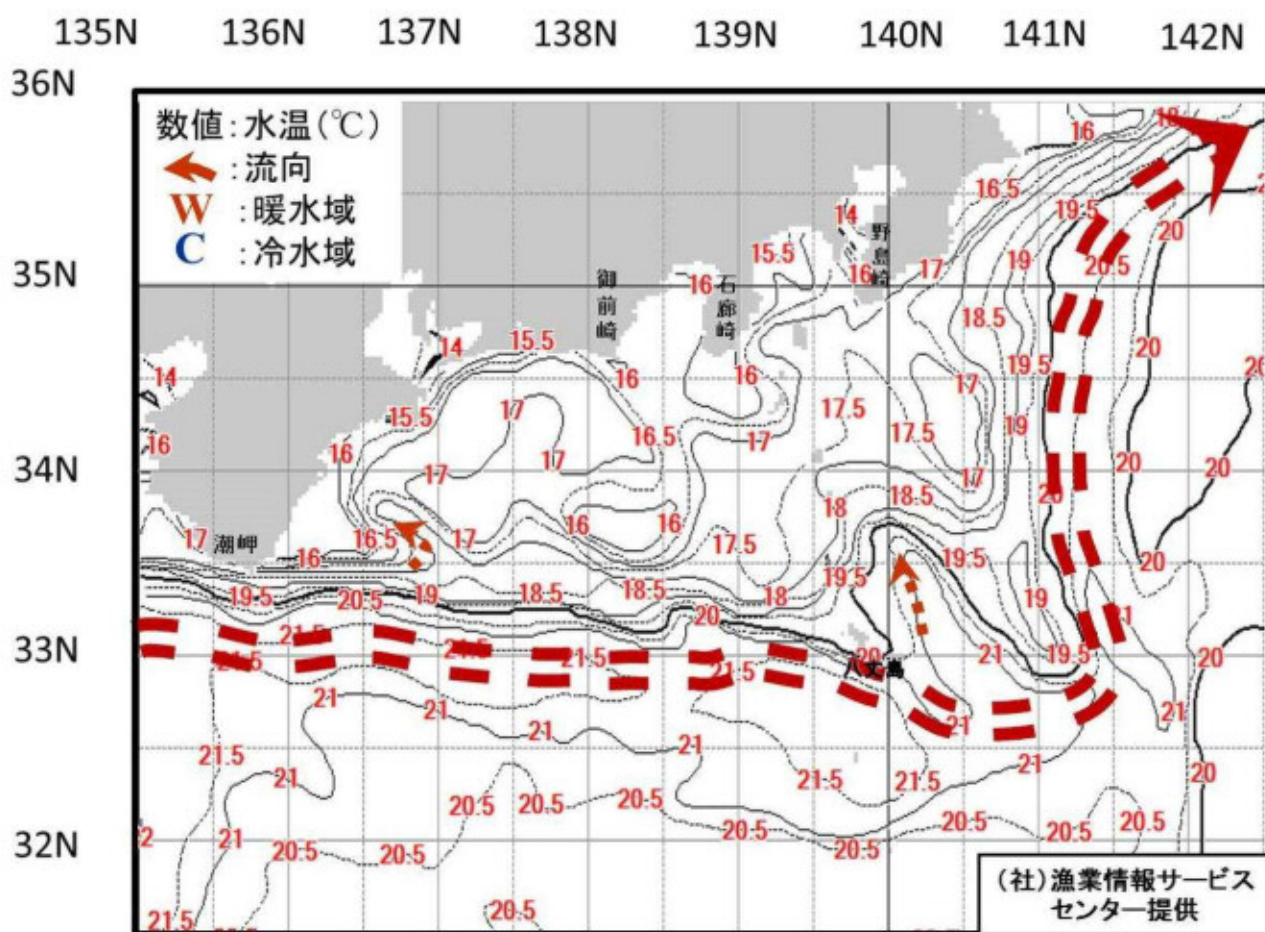


図 1 海況の現況[2016 年 1 月 18 日]

2 イワシ類漁況 (2015年漁期のまとめ)

(1) シラス

2015年は、沖合域の水温が例年よりも高く産卵が早く、例年より早い3月下旬から操業が始まりました。4～5月は、熊野灘からの暖水波及があり、稚魚の供給も順調であったことから、漁獲量は高水準で推移しました。6月になると沖合域からの暖水波及が強まったことから漁獲水準は低下し、7月上・中旬は全く操業できない状況となっていました。その後も一時的な回復がありましたが、9月上旬まで極端な不漁となりました。10月上旬になると暖水は遠州灘方面から波及するようになり、外海、内湾ともに漁場が形成されて漁獲は回復しました。この状況は11月から12月中旬にかけて続き、この時期としてはかなりの漁獲量となりました。

県内の年間漁獲量は約9,800トンで、前年(約7,500トン)および平年(約5,900トン、過去10年平均)を大きく上回りました(表1)。

操業船のCPUEは4月中旬と5月、10月下旬から12月初旬に高水準となっていました(図2)。

単価は、6月上旬に平均7,000円(カゴ約20kgあたり)を割り込みましたが、夏～秋季には概ね10,000円以上が維持され、漁獲量が高水準であったにもかかわらず堅調に推移しました(図3)。

表1 愛知県シラス漁獲量(トン)

年/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2010	0	0	0	7	440	753	256	220	782	1,642	365	39	4,503
2011	1	0	0	169	583	1,168	1,219	517	677	547	478	279	5,637
2012	9	0	0	110	444	832	1,383	1,167	679	1,142	496	181	6,443
2013	4	0	0	723	1,667	374	250	295	1,248	322	353	272	5,508
2014	0	0	0	594	2,828	527	18	891	672	1,400	592	236	7,758
2015	0	0	6	980	3,255	1,466	40	155	164	1,002	1,847	928	9,843
平均10y	5	0	7	409	1,357	971	644	654	647	676	381	147	5,900

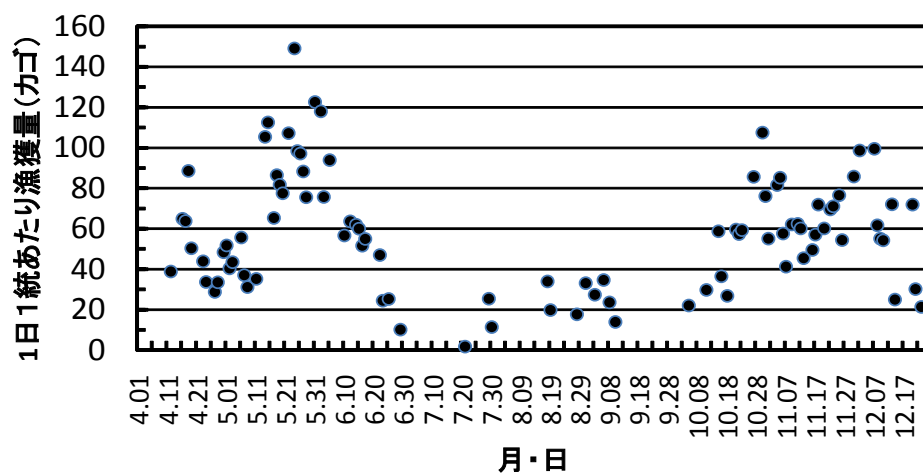


図2 操業船のCPUE(カゴ/隻)の変化

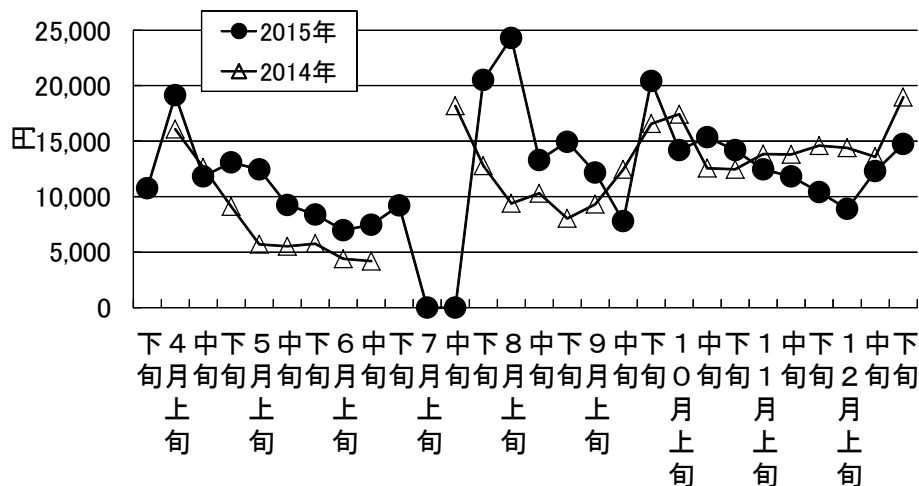


図3 愛知県シラス平均単価(円/カゴ20kg)

※2015年7月上旬～7月中旬は水揚げなし。

(2) カタクチイワシ

2015年は、1、2月に成魚の来遊がありました。春から好調であったシラス漁を操業していたこともあり、6月下旬まで漁獲に大きな伸びはみられませんでした。

その後、春シラスから成長した未成魚が漁獲対象となると、7月以降の水揚げは増加しました。10月以降、漁獲はやや低調となりましたが、秋季には秋シラスに由来する未成魚も漁獲に加わり、年末までますますの水揚げが維持されました。

表2 愛知県カタクチイワシ漁獲量（トン）

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2010	0	0	0	0	1	1,529	4,844	4,819	1,775	590	1,497	973	16,028
2011	37	92	116	561	768	1,945	3,610	4,935	572	159	294	401	13,491
2012	46	0	0	260	1,471	1,792	1,824	3,704	2,197	483	851	354	12,983
2013	0	0	0	0	803	2,680	4,794	5,382	2,382	1,082	2,811	1,768	21,702
2014	446	0	0	655	269	2,864	5,389	3,742	3,009	2,609	1,971	703	21,657
2015	231	226	0	131	0	286	4,707	2,888	2,900	665	1,223	361	13,617
10年平均	61	25	12	214	738	1,861	3,926	4,091	2,398	1,526	1,312	737	16,899

*7月以降の統計数値を修正しています。

(3) マイワシ

2015年は、春季のマイワシシラスの来遊量が高水準であったことから、これらの成長によって、夏季以降、かなりまとまった水揚げとなることが予想されました。7月以降、漁獲が本格化すると、期待どおり例年を上回る水揚げが年末まで続きました。魚体は昨年と同様、例年ほどの成長がみられなかったため、漁期を通じて漁獲は小型のものが主体となることが多く、漁獲尾数のわりには漁獲量が伸びみせんでしたが、県内の年間漁獲量は、ぱっち網で約9,500トン、まき網で約1,600トン、計約11,100トンと昨年、平年を大きく上回りました。これは、全国的なマイワシ資源の増加傾向が、昨年以降、県内に現れてきたものと考えられます。

なお、昨年みられた11～12月のシラス漁獲物へのマイワシシラスの混入はほとんどありませんでした。

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2010	0	0	0	0	0	2	288	653	675	247	17	0	1,881
2011	0	0	1	0	2	29	361	1,223	1,091	264	68	4	3,044
2012	0	0	0	0	0	72	49	499	214	52	0	0	886
2013	0	0	0	0	1	8	107	577	295	3	0	0	992
2014	0	0	0	<1	0	104	269	1,547	1,334	617	422	180	4,474
2015	76	78	0	0	0	4	1,010	2,100	3,184	2,684	1,413	574	11,123
10年平均	0	1	0	0	1	32	167	568	423	165	72	24	1,006

*7月以降の統計数値を修正しています。

表3 愛知県マイワシ漁獲量（トン）

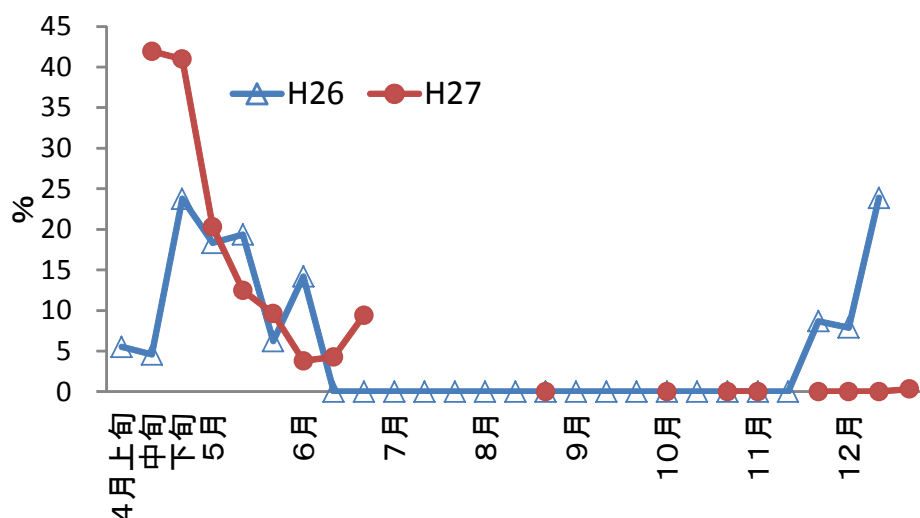


図4 愛知県マイワシシラス混獲率 (%)
※シラスの混入割合から算定。

※ 漁獲量等の各数値は、水試調べのものです。また、漁業種類は、しらす船びき網、ぱっち網、まき網のみです。

3 イカナゴ

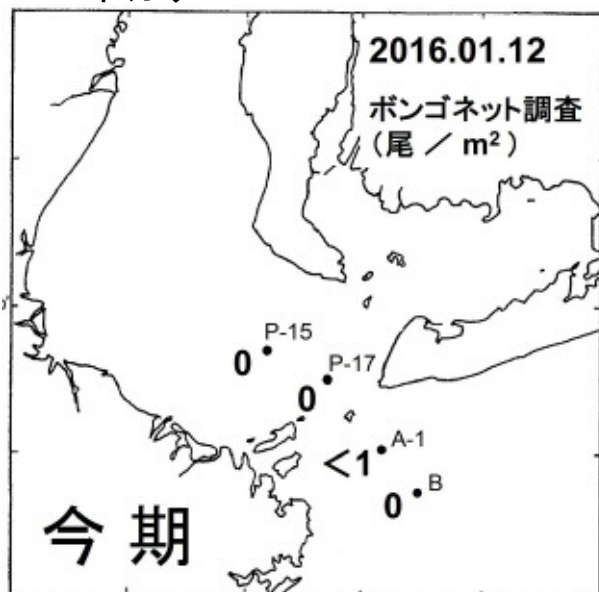


図5 ボンゴネット調査結果（1月5日、イカナゴ仔魚の採取密度）

12月24日および1月5日、1月12日にボンゴネットによるイカナゴの仔魚調査を伊勢湾と渥美外海の湾口部で実施しました。

仔魚は、12月、1月上旬の調査では採集されず、1月12日の調査でようやく1尾確認できました（A-1 0.1尾/m²）。

イカナゴの産卵及びふ化は例年よりも1旬以上遅れている模様です。

過去に1月上旬の調査でイカナゴの稚魚が採取されなかったのは、2000年、2005年、2009年以来です。

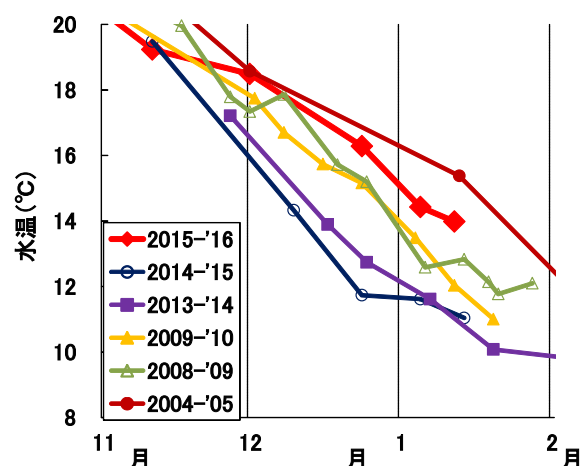


図6 湾口部(沿岸定線 A-1 30m)の水温変化

今期はエルニーニョ現象により暖冬傾向が強く水温も高めで経過し、11月下旬の水温降下が鈍かったことから、2016年1月中旬の水温は、2004年から2005年に次ぐ高水温年となっています。

近年でエルニーニョ現象が発生していた年は2009年夏から2010年春です。この期の水温も比較的高めでしたが、今期よりも1～1.5℃程度低く経過していました。

表4 ボンゴネット調査結果とイカナゴ漁況の推移

* 三重水研の調査結果を含む

漁期(年)	ボンゴネット 稚仔魚採取数(尾/m ²)					解禁日	加入資源 尾数(億尾)	漁獲量 (愛知、トン)	水揚げ金額 (愛知、万円)
	12月下旬 (湾口部)	1月上旬 (伊良湖前)	1月中旬 (伊勢湾 平均)	1月下旬 (全湾 平均)	2月上旬 (伊勢湾 平均)				
2006	採取されず	1,015	176	130	175	3/9	651	9,300	105,800
2007	採取されず	873	228	98	32	2/27	182	4,500	107,300
2008	0 ~ 49	145	55	18	13	3/2	180	3,600	98,500
2009	採取されず	1 未満	8	3	1	3/8	44	1,000	22,700
2010	採取されず	643	236	216	310	3/3	504	10,500	138,000
2011	採取されず	78	195	62	30	3/11	283	6,200	66,100
2012	採取されず	141	118	72	25	3/8	321	7,700	72,500
2013	0 ~ 32	233	71	21	27	2/28	302	4,100	86,400
2014	採取されず	815	26	70	29	3/2	292	5,508	100,745
2015	採取されず	57	40	1	3	3/6	89	1,978	53,327
2016	採取されず	採取されず							

今後は、1月中旬に三重水研が、下旬に愛知水試が、それぞれ全湾でボンゴネット調査を実施し、仔魚の分布範囲や分布量を調べる予定です。

※ 最新の情報については、インターネットの愛知県水産試験場 web ページをご覧ください。
(<http://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>)